

<奨学金給付型大学公式派遣プログラム>

2022年度

海外での日本語指導・日本語教育学習を通じた外国人児童生徒支援リーダー育成プログラム募集要項

1. 目的

本学の所在地である愛知県は外国にルーツを持つ児童生徒の数がとりわけ多い地域として知られるが、昨今その数は急速に増加している。そうした状況においては、日本語指導ができる教員だけでなく、地域や学校において外国人児童生徒支援を引っ張る人材の育成が喫緊の課題である。外国人児童生徒支援で指導的な役割を担うには、深い日本語教育の知見と日本語指導に関する多様な経験が不可欠である。とりわけ後者に関しては、海外の日本語教育事情や教授スキルを学ぶこと、海外で外国語を用いて日本語を教える経験、多言語・多文化社会の体験、さらには自身が文化的・言語的なマイノリティとして実際に過ごす経験を持つことが非常に重要である。そうした言語・文化一般についての広い知見、経験を持つことで、外国人児童生徒に対する日本語指導のスキルだけでなく、彼らに対するエンパシー（共感力）も向上すると期待する。そこで、本プログラムでは、本学の協定校であり、日本語学科を持つ、インドネシアのスラバヤ大学、タイのチェンライ・ラチャパット大学での日本語を教える経験や学生同士の交流を通じて、自身が異文化に身を置き、日本語がマイノリティである社会に身を置くことで外国人児童生徒支援の在り方についてリフレクションを行う。最後には総括的な学生シンポジウムをタイ、インドネシアの学生と共同で企画開催し、自身の学びを深めるとともに、他に波及させる。

このようなプログラムを実施することで、外国人児童の最も多い地域の一つにある大学として、また、広域拠点型教員養成大学として、地域の教育の質向上を図る。

2. プログラム内容

(1)期間

①タイ・チェンライ： 2022年 9月 1日（木）出発予定（37日間の実地研修）

②インドネシア・スラバヤ： 2023年 2～3月出発予定（37日間の実地研修）

※日程について、先方大学の事情、航空機の運航状況などを考慮しますので、ここで確定した日程を示すことができません。今後、先方大学、参加者と相談しながら決めていきます。

※参加者数等によっては、研修形態が「25日間の実地研修+オンライン」に変更になる場合があります。

※②の学内募集は今後行います。

※質問等がある場合は、日本語教育講座 北野浩章教授(kitano@aeu.ac.jp)までメールでお問い合わせください。

(2)内容 ※詳細は今後調整予定。

①事前指導（インドネシアおよびタイについて、東南アジアの文化、歴史、政治を学ぶ等）

②事前準備（パスポート取得、保険、危機管理、心構え、健康管理等）

③交流（日本語授業の見学やサポート、教壇実習、日本語専攻の学生との交流等）

④歴史・文化視察・体験（スラバヤおよびチェンライの市内観光、近隣の観光地へのツアー等）

⑤事後指導（現地での体験を通じて学んだことをどのように今後活かすかを考える等）

3. 募集人数

最大10名（インドネシア5名、タイ5名）

※タイ、インドネシアの両方へ行くことはできません。

4. 募集対象者

本プログラムへの参加を希望し、以下の要件を満たす者とする。

- (1)日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者
(パスポートを所持しない場合は参加が確定してから取得してください)
- (2)本学に在籍する学部1～4年生、大学院1、2年生で心身ともに健康で海外滞在に支障がない者
- (3)渡航1ヶ月前までに新型コロナウイルス感染症のワクチンを3回接種済みである者又は接種予定である者
- (4)本プログラムの事前・事後指導に必ず参加できる者
- (5)本プログラム終了後、報告書等の作成等に必ず協力できる者
- (6)学業成績が優秀で人物等に優れており、かつ、次に定める方法で求められる、前年度の成績評価係数が3.00満点で2.30以上であること（大学院1年生の場合は、出身大学の成績から算出）。

学部1年生の場合は別途対応しますので国際交流センターに相談すること。

※① [成績評価係数の算出方法] をもとに「成績評価ポイント」を換算し、小数点第3位を四捨五入して算出する。

② 成績評価係数が2.00以上2.30未満の場合は事前に国際交流センターに相談すること。

5. 費用

渡航費：約13万円（チェンライ）、約19万円（スラバヤ）

※航空券の価格などによる費用の変動あり。

滞在費：1泊約3,000円（チェンライ）、1泊約2,000円（スラバヤ）

※大学から学内宿泊施設などを提供してもらえる可能性あり。

その他：飲食費、その他生活をしていく上でかかる経費など

海外旅行保険料：約1万円

渡航ビザ申請代：約1万円

なお、奨学金として、14万円を支給する（ただし、帰国後の支払いとなります）。

6. 募集期間

2022年 6月27日（月）～7月8日（金）

実施説明会を、6月30日（木）の16時40分から 国際交流センターで開催しますので本プログラムに興味のある者は参加してください。

7. 応募手続き

本プログラムへの参加を希望する者は、次の書類を提出すること。

- (1)2022年度学生交流プログラム参加申込書
- (2)成績証明書（学部1年生を除く）
- (3)新型コロナウイルス感染症ワクチン接種証明書（最終提出期限：渡航1ヶ月前）

8. 選考方法

書類選考（必要に応じて面接を実施する場合がある）

9. 申込書類提出先・問合せ先

国際交流センター（教育交流館1階）

T E L : 0566-26-2178、2179

E-mail : kokusaikoryu@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

【成績評価係数の算出方法】

成績評価	S	A	B	C	D
評価ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{前年度の総登録単位数}}$$

2022 年度海外での日本語指導・日本語教育学習を通じた外国人児童生徒支援リーダー育成プログラム
参加申込書

年 月 日

愛知教育大学長 殿

(申請者)

学籍番号 _____
所 属 学 部・大学院 _____ 学年
課 程 _____
選修・専攻・コース _____
氏 名 _____
電話番号 () _____
携帯電話 () _____
E-mail _____
指導教員等 _____

【語学能力 (参考)】※選考時の必須条件ではありません

- (1) TOEIC : _____点 (リスニング _____点、リーディング _____点)
(スピーキング _____点、ライティング _____点)
(受験年月 _____年 _____月)
- (2) TOEFL、IELTS、その他 : 試験名 _____、 _____点 (級)
(受験年月 _____年 _____月)
- 英語以外 : 試験名 _____、 _____点 (級)
(受験年月 _____年 _____月)

【前年度の成績評価係数】 _____

【自己 PR】(200 字程度)

【海外渡航経験(滞在先、滞在時期、滞在目的)】※選考時の必須条件ではありません

【志望動機】(400字程度)

【特記事項】

- (1)心身ともに健康で、このプログラムの参加に支障がない
- (2)前年度の成績評価係数が 2.30 以上である（日本学生支援機構が定める条件）
※2.00 以上 2.30 未満の場合は、事前に国際交流センターに相談すること
- (3)本プログラムの事前・事後指導、事前準備に必ず参加する
- (4)本プログラム終了後、報告書等の作成に協力する
- (5)渡航 1ヶ月前までに新型コロナウイルス感染症のワクチンを 3回接種する

上記特記事項について同意し、このプログラムへの参加を申込みます。

(署名)
